

自然豊かな厚真町で農業との出会い！移住して良かった。



厚真町

自然環境に恵まれた北海道で子育てがしたいとの思いを实らせた安達さん、移住に関する様々な情報の中から厚真町を知り、下見に訪れ一目惚れ。埼玉県からの移住を決断しました。町から地域おこし協力隊の農業支援員を委嘱され農業を学び、今はハウレンソウ農家として独立。現在、自分達の生活を充実させるため汗を流しています。今回は、移住を決めた経緯などについて取材しました。



「とにかく行ってみよう！！」“ポジティブ”な安達さん家族 移住の経緯とQ & A・・・

ご主人は北海道出身で、移住前は埼玉県に居住。暑い気候に耐えかね、冷涼な北海道で子供を育てたいと考えてはいましたが、最初から農業を営もうとは思ってなかったとのこと。自然環境に恵まれた地域に移り住みたいとHPで情報を得たり、色々な町を訪れて厚真町への移住を決めたそうです。

Q・なぜ厚真町だったのですか？

地理的に厚真町がよかった。苫小牧も札幌も空港も近いし、あまり心配いりません。帰省するときは苫小牧港からフェリーを使います。

Q・不便は感じませんか？

コンビニが遠いといったデメリットも感じることはありますが、自然環境や地域の方々の温かさなど多くのメリットを感じています。

Q・近親者で移住に反対の方はいましたか？

奥さんの親ですね。（笑）

Q・子供の教育などは心配ありませんか？

塾や習い事は親の自己満足的な側面もあると思います。



見事なハウレンソウ。生で味見をさせてもらおうと、爽やかな甘みがいっぱい。

ハウレンソウのビニールハウス。このときは収穫最盛期。



大らかな環境で生活を楽しむ安達さん御家族

Q・地域おこし協力隊のきっかけは？

工場勤務も選択肢の一つでしたが、恵まれた自然環境の中で働きたいと考えていたところ、厚真町が地域おこし協力隊として農業支援員を募集していましたので、すぐに応募しました。

Q・地域の人との関係は？

以前暮らしていた町では、仕事つながりだけの付き合いでしたが、厚真町の方々には温かく色々と助けてくれ、気疲れしなくなりました。時には、食べきれないほどのホッキ貝を持ってきてくれたりします。本当に移住して良かったと感じています。

Q・開発局について思うことは？

気づかないところでいろいろやっている。縁の下の力持ちみたいな。

・・・ありがとうございました。

厚真町の取組

今回の取材を行うに当たり、厚真町産業経済課農政グループ小堀主幹とまちづくり推進課事業推進グループの小山主査に安達さんを紹介していただきました。

町では移住等に係る多くの支援制度を設けており、移住の促進や移住者へのきめ細やかなフォローアップを行っているとのこと。

※厚真町の移住者支援制度（一例）

- ・住居・・・「持ち家住宅建築促進支援助成金制度」「空き家活用事業補助金制度」等・・・
- ・子育て・教育・・・「保護者が負担した保育料の1割を子育て支援金券に交換」「第3子以降の出産祝い金」
- ・仕事・・・「農林水産業への就業支援、担い手育成支援」等



小堀主幹



小山主査

※厚真町ちょっと暮らし・・・

厚真町では、将来の移住を検討される方に短期間の移住が体験できる施設を用意しています。



※詳しくは厚真町(0145-27-2321)へお問い合わせください。

厚真町での開発事業

厚真町では、農業の生産性を高めたり、農村の生活水準を向上させるなど、地域の活性化、快適で美しい田園空間の形成などを目指して、農業用水路の整備などを実施しています。（勇払東部（二期）地区）

